

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通園あこが		
○保護者評価実施期間	2025年11月14日		～ 2025年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年10月22日		～ 2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	20人定員のためコミュニケーション等の関わりの積み重ねが多い。	学年・特性に応じたクラス編成を行っている。クラスごとの活動だけでなく、合同で取り組む活動内容も取り入れている。	いいこと、悪いことを学び経験を積み重ねていけるよう活動内容の充実を図る。
2	室内だけでなく、屋外での活動を多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	主に長期休暇時にお出かけやお買い物等の活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	現在は職員が考える活動内容に取り組んでもらう形が多い。今後は子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会を考えていく。
3	法人内異動による継続支援体制があり、児童発達支援から放課後等デイサービスへ移行した児童について過去の支援経過を踏まえた療育が提供できる。	以前の様子が分かるため特性を理解して関わることができる。保護者との関係性も築けていたため継続した支援を行うことができる。	以前の様子が分かるため職員間での情報共有を行い、支援に盛り込むことが出来る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信力の弱さ。	現在、インスタグラム等のSNSでの情報発信をしていない。	活動の様子や情報等をSNSで発信したいが個人情報や情報の取扱いに対して難しさを感じている。
2	緊急時(避難訓練)の積み重ねの難しさ。	避難訓練(地震・津波・火事・防犯)、消火訓練等をしているが利用児童が全員経験することができていない。活動日が同じ日にならない工夫をしているが利用日数や体調不良等の欠席があり経験する児童にも偏りがある。	避難訓練の種類に応じてそれぞれ年2回行っている。平日・休日の利用児童が経験できるように機会を設けている。今後も、利用状況を踏まえ、必要に応じて回数を検討していく。
3	法人内で情報共有が可能な体制ではあるが、異動により利用児童に継続した支援がしにくい。	利用児童の特性や保護者との信頼関係を積み重ねている中で異動がある。全体的な引継ぎや担当者としての業務の引継ぎなどの負担が大きい。	担当者との情報共有や業務の振り返りを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		通園あこご					公表日 2026年2月26日		
		利用児童数 46人					回収数 46人		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	4	0	7	0	小さい子どもさんにとってはどうなのか わかりません。	活動スペースは、年齢や発達段階に応じ て安全に過ごせるよう配慮しています。 低学年にとっても安心して活動できるよ う、環境整備を継続してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	4	1	10	0	人手不足の時世ではありますが、子ど もたちの安全面を考えると、もう少し人 が多い方が安心です。	当事業所では加配加算を取得し、できる 限り手厚い職員配置を努めてますが、不 安を感じさせてしまい申し訳ありませ ん。これからも支援の質と安全性を高め られるよう、職員配置体制の見直しや環 境づくりを進めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	3	0	10	0		年数回ではありますが面談時・あこご交 流会の時等、園内に入ってもらう内部を 見て貰う機会を設けています。今後も環 境の場を提供していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	10	0	①参観などの機会がない。 ②いつも『あこごさんのトイレ。きれ い！』と子どもが言っています。 ③コロナやインフルエンザの時期も感染 が広がることもあまりないので清潔面は 安心できます。	①③清潔で快適な環境づくりと、活動に 合わせた空間づくりに努めています。参 観の機会はないため、活動の写真で様子 を伝える工夫を行っております。 ②子ども達自身が過ごしやすい環境作り に努めてまいります。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	33	6	1	6	0	①トイレ（パンツ）も急がずにゆっくり 進めてくださり、感謝です。 ②人によるかもしれませんが子どもが安 心して接しているのか不安になります。	①②個々の子ども達のペースや状態に合 わせて支援に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	39	0	0	6	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	41	4	1	0	0	日によって子どもがいくのを嫌がる事 があるように思えます。	保護者と情報共有等の連携を行い、通所 を嫌がることがあっても、その日の体調 や気分を確認しながら支援をすすめてい きます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	5	0	3	1		個別支援計画の説明がより理解しやすい ものとなるよう、説明方法や共有の仕組 みを引き続き改善してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	3	1	1	0	計画通りには進まないことの方が多いよ うですが努力をもっとして欲しいです。	保護者の皆さまと情報共有を行いな がら、個々の子どもの変化に応じた支援計 画の検討・作成を行います。計画に応じ た支援を提供してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	36	5	2	2	1		職員ミーティングで話し合い、活動プロ グラムが固定しないよう工夫していま す。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	16	6	8	15	1		地域の他の子ども達と活動する機会を設 けることができずして。今年度は 他の放課後等デイサービス事業所と交流 する機会を設けることができました。
保護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	43	2	0	1	0		契約時や、更新時には説明する機会を設 けています。より一層わかりやすく説明 できる方法を考えていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	44	1	0	1	0		放課後等デイサービス計画を示しなが ら、支援内容をより分かりやすく説明で きるよう努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	3	0	8	0		家族向けの研修案内や情報提供の機会を 提供しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	41	3	1	1	0	週一回なので	週1回の利用で共有の機会は限られてま すが、今まで以上に様子を分かりやすく伝 えられるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	0	0	1	0		あこご交流会や面談、送迎時にその都度 対応しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	1	1	4	0	他の子どもたちのことはわかりませんが 全ての子どもに行き届いているとは思 いません。	一人ひとりの気持ちに寄り添った共感的 な支援を心がけていますが、全ての場面 で充分に行き届いていないこともあると 思います。保護者の方にも随時状況をお 伝えし、連携しながら支援の質向上に取 り組みます。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	3	1	9	2	①交流しています。きょうだい向けはわかりません。 ②きょうだいへの支援についてはされていない？どのようなことがきょうだいへの支援になりますか？	①②あこう交流会で保護者会を年2回開催することができました。交流会できょうだい参加型にしています。今後もきょうだい同士の交流の機会を設けていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	1	4	1	1		迅速な対応を心がけています。引き続き、相談しやすい環境づくり・迅速な対応を進めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	3	2	2	1	①早い目によって欲しいこともある。親が知らない情報がある。 ②長期休暇の時、持参するファイルは体温の記載しがないので必要ですか？	①この度は気付くことができず、ご迷惑をおかけしました。今回のご意見からは具体的な内容が分かりませんが今後の改善に生かしてまいります。 ②保護者ファイルに検温や送迎の変更（保護者の送迎に変更）を記入頂いています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	3	3	5	1		自己評価結果の公表や毎月おたより（活動予定表・利用予定表）を配布しています。また、あこう交流会や面談の際に活動の様子を見て貰えるよう日々の活動記録の写真を準備しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	0	0	6	1		個人情報の取り扱いには十分に留意し対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	2	0	11	1	①冊子にまとめているのかわからない。 ②緊急時の対応は、保護者にわかりにくいので写真とかアルゴリズム的なものを示しておく方がもめない気がする。	①各マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施しています。保護者の方にも周知できるような方法を検討しています。 ②貴重なご意見ありがとうございます。保護者の方にもわかりやすい工夫を考えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	2	0	4	1	自分たちは行っていると言っても相手はどうかは聞いてみたいとわからないものです。	利用児童と一緒に非常災害（火災・地震・津波）・防犯訓練を行っています。プールの時期には事前に救命講習の訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3	0	8	2	先生方の身を守る対策も必要かと思いません。	子どもの安全確保を最優先に、職員自身の安全にも十分配慮しながら支援を行えるよう、体制の整備と見直しを進めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	2	0	7	1	①そういったことがないため。 ②世の中、考え方が変？になっている気がする。	①ケガや事故が発生した時には速やかに連絡や情報共有に努めています。 ②社会の考え方や価値観が変化している中、これまで以上に迅速でわかりやすい情報提供が求められています。状況説明や連絡体制の強化に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39	3	1	2	1	①学校の方が好き。 ②毎日ではないですが、嫌がることがある環境が安心できる状況ではないのかもしれない。	①学校が好きとのこと、嬉しく思います。放課後等サービスでも安心して楽しく過ごせるよう努めます。 ②嫌がる日もあり、毎日安心して過ごせているとは言えない状況で申し訳ありません。保護者の方と相談・情報共有しながら、安心して過ごせる支援方法・体制づくりを目指します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	4	2	1	1	①大好きな先生の名前しか言わない。荒れて帰ってくる。本人はどう思っているのかわからない。 ②『先生すきー。優しいー。』とよく言っています。 ③サッカーは大好きらしいです。ただ、団体生活を覚えさせるには、自分の好きなことをつらぬくのはダメなものでご迷惑をおかけしますが『今日はサッカーじゃない。』と言ってやってください。 ④その時によって違うような気がしますが、嬉しそうに入っていく時もあります。	①④安心して気持ちを表現できるよう、関わり方や環境を工夫し、落ち着いて過ごせる時間を増やせるよう支援していきます。 ②④温かいお言葉ありがとうございます。 ③活動の切り替えがスムーズにできるよう声かけを工夫しながら子ども達と話し合っ決めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	1	1	4	1	①子どもの特性とか個性に対応してくれていると思います。 ②不安の方が多いです。	①温かいお言葉ありがとうございます。 ②支援に不安を感じられていることを踏まえ、保護者との情報共有や相談を密に行いながら、安心して利用して頂ける支援体制の整備に努めます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		通園あこが				公表日	2026年2月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1F・2Fに発達支援室以外にも園庭(砂場)、和室等の場所があり様々な活動に対応できるスペースを整備しています。活動の動線を考え、落ち着いて過ごせるようスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置基準を満たしています。個別対応が必要な利用者への配慮も行っています。	思春期の男子児童もいるため、男性職員を配置していますが不足感を感じる時もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		2Fへの移動は階段になるため見守り対応しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		机での活動や自由に活動できる広いスペースを考慮して提供しています。毎日、掃除をして衛生面に配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		和室や相談室を活用しクールダウンやグループに分かれて活動できる環境を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		勤務形態も異なるため難しい面もありますが、回覧や申し送りを行い、共通理解をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		あこが交流会(保護者交流会)や面談、アンケートを基に業務改善に向け取り組んでいます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務や月2回の職員会議で意見を改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行っていません。今後行っていくようにしていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内・外の研修を受講しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者と面談を行い、情報をもらい作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画策定会議、職員会議、打ち合わせ等で話し合いを行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケア記録に記載し共有しています。その都度、振り返りや話し合いをして対応を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個々に対応しなければいけない時には色々な方法で対応しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの4つの視点を踏まえ、アセスメント内容から必要な支援項目を整理し、設定して個別支援計画に記載しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議でチーム(職員全体)で立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた行事や子どもの興味のある内容を活動に盛り込んでいる。ルールなどを工夫し、固定化しないように活動内容の充実を目指しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者と面談を行い、支援計画を作成し支援を行っています。5領域を考慮しながら集団活動・個別活動を組み合わせ支援を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝に打ち合わせを行い、天候、職員の役割、利用者の状況等を見て決めています。回覧等を使用し情報共有をしています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	勤務形態が異なるため難しい面もありますが、回覧や申し送りを行い共通理解をしています。支援終了後には行えていないが、引継ぎを行い、次の日の朝に打ち合わせをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援終了後に活動記録を記入し、振り返りと改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	適宜、必要に応じて対応しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	『4つの基本活動』を組み合わせながら支援に努めています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	子ども達自身がおやつ、活動内容、役割分担等を選択できるように声掛けや機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に全体で話し合い、管理者、児童発達支援管理責任者や担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	連携した支援ができるよう努力しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校の担当者や連携し、下校時間や学校・事業所での様子を共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	相談支援専門員と連携し情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	専門機関と連携し研修を進めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園などで一般の子どもや他事業所と関わるような場面もありますが、交流する機会は設けていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	帰りの送迎時に様子を伝えるように心がけています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の対応力の向上に向けて取り組みをすすめてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時、変更時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談を行い、保護者の意向を確認しています。又、利用児には聞き取りを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	随時、説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご相談があれば、助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	あこう交流会を開催し保護者同士の交流する機会を提供しました。今年度は年2回実施することができました。今後も、保護者同士が交流の機会や企画を提供していきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情箱や苦情受付窓口、第三者委員を設けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月おたよりや活動予定表を発行し活動内容などを伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	保護者には個人情報使用の同意書を買っている。職員には個人情報にかかる誓約書を取るなど徹底しています。情報の取り扱いには注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子ども達が目で見て行動できるように絵や写真、文字等を使った視覚支援を取り入れ、わかりやすいようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する機会を設定していきたいと思えます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	事業所内に各マニュアルを設置し、随時訓練（避難訓練・防犯訓練）を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定し、定期的に訓練を行っています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者と連絡帳や送迎時に様子を共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書や保護者に検査結果を確認しながら対応しています。 おやつ箱を別に準備したり食品アレルギー一覧表を作成しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		個別支援計画に記載しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員会議で共有し、振り返り・情報共有を周知徹底しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を受講し、認識を深めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者にも利用時の様子を伝えて共通理解を深めています。	対象の児童はいませんが、段階的に説明を行い、協議を行って進めていきます。